

# 神戸昇天教会月報

☎652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490  
FAX (078) 361-4539  
http://nssk-kobeshoten.org/ 口座振替 01110-2-10517

### 今年の標語

「来てみませんか」と誘える教会を目指そう。

### 努力目標

- 聖書と聖歌に親しむ。
- ホームページの活用。
- 信徒一人ひとり教会活動に参画しよう。
- 地域との交流促進。

### 聖語

キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。(エフェソ2:22)

## 礼拝に与ることへの渴望を ～月遅れの過越の規定から～

第2の月の14日の夕暮れにそれを祝い、酵母を入れないパンと苦菜を添えてそのいけにえを食べなさい(民数記9:11)。

司祭 ミカエル 小南 晃

先月の大きな出来事と言えば、まずは言うまでもなく9月23日の神戸教区主教按手式・就任式でしょう。オーガスチン小林尚明新主教を与えられて神戸教区は新たな歩みを踏み出しています。

今一つ、9月と言えば当教会では毎年、敬老感謝礼拝・祝賀会が恒例行事として行われていました。

しかし今年はその予定日の9月17日に台風18号が直撃しそうな予報であり、大事をとって急遽、三日前に敬老感謝礼拝の中止の連絡を廻させて頂きました。

台風は当初予定より少し到達が遅くなり、暴風雨が吹き荒れたのは夕刻過ぎてからでしたが、ご高齢の方にお越し頂く礼拝・行事としては、中止はやむを得ない判断であったと思います。

### 敬老感謝礼拝は10月15日に

しかし中止連絡と共に、敬老感謝礼拝と祝会をほぼ1か月後の10月15日に延期して実施することも併せてお知らせさせて頂きました。

ところで9月にこの礼拝を行っているのは敬老の日に近いからですが、それが1ヶ月も遅れると間延びして、興ざめた感じがするかも知れません。しかし聖書の中にも大切な祭りを都

合で1ヶ月遅れで祝った記事が出て参ります。

民数記9章に1ヶ月遅れの過越の記事が出て参ります。過越祭はイスラエルにおいて最も重要な祭りです。それはイスラエルの暦の第1の月の14日に守られねばなりません。しかし丁度その時に何か汚れることがあったりして祭りに出られなかった場合には、第2の月の14日にその人たちは過越祭を祝いなさいと命じられています。

今年の敬老感謝礼拝も1か月後の10月15日に実施いたしますので、是非ともご出席ください。

### 礼拝に与ることへの渴望を

ところで前述の月遅れの過越の規定で注目すべきなのは、この規定が定められるに至った経緯です。民数記9章7節以下を見ますと『わたしたちは死体に触れて汚れていますが、イスラエルの人々の間で、なぜこの定めの中に、主に献げものをささげることから除外されなければいけないのでしょうか。』モーセは彼らに言った。『待ちなさい。主があなたたちに何とお命じになるか聞いてみよう』とあります。即ち、そこにはイスラエルで最も大切な祭りに出られなかった者たち

の、自分たちもなんとか祭りを祝いたいという切なる願いがあり、そしてその思いに神が応え給うた結果だということです。

今、私たちが学びたいのは、そうしたイスラエルの人々の過越祭への渴望です。そしてそれを今の私たちの信仰生活に置き換えるなら、礼拝に与ることへの渴望を抱くという事ではないでしょうか。

### み言葉の礼拝の実施

10月から私は富岡キリスト教会と鳴門聖パウロ教会の管理牧師を委嘱されました。毎月第4日曜日に2教会の主日礼拝に参ります。その間の当教会の主日礼拝をどのように守るか教会委員会で検討した結果、当面は信徒による「み言葉の礼拝」を行うことになりました。神戸教区の現状を見る時、神戸伝道区以外はかなりの規模の教会も月1回は司祭不在のために「み言葉の礼拝」を行っています。小さな教会になると聖餐式は月2回で後はみ言葉の礼拝です。それも場合によっては日曜日の午後であったり、また日曜日以外であったりします。私たちもそうした信仰生活に倣おうというものです。

「み言葉の礼拝」の制定の背後には、たとえ牧師や司祭がいなくても信徒によって主日礼拝を守って行こうという礼拝への熱意、即ち礼拝に与ることへの渴望があるように思います。

これから「み言葉の礼拝」を実施するにあたって、今一度その思いを強くしながら、是非、礼拝出席に努めて頂きたいと思います。

### 定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式  
" 9時15分 教会学校  
" 10時30分 聖餐式・説教  
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会  
土 午前10時30分 教会掃除  
(ご奉仕をお願いします)